

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2024 年度第 6 回事業普及委員会議事録

I. 日 時： 令和 7 年 1 月 2 8 日（火）18:00~20:00
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoom によるオンライン会議）

II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員
（事務局：井端事務局長、中村）

III. 検討内容

以下の検討事項について協議を行った。

1. 2024 年度 機関誌 No. 3・No. 4（合併号）の原稿確認

- ① 巻頭言については、執筆者の役職名等の確認、表題および文中の表記が機関誌における統一したものになっていること及び、読者が理解しやすい汎用的な表現になっていることを確認した。
- ② 特集「対面・ICT 活用による問題発見・課題探求型 PBL の推進・普及」については、執筆者の役職名、表題、略称の表記が適切であること、適切な年号表記、挿入図表の表記名称及び文中の脚注番号と巻末の参考文献および関連 URL の表記が適切であることを確認した。また、文中の表記が統一されていること、文字フォントの大きさ、句読点、文章と挿入図表の大きさやバランスなど、読者にとって読みやすく理解しやすいレイアウトとなっていることを確認した。なお、一部の原稿に PBL に参加した学生数等の記述がなされていたものについては、筆者に追記等の依頼をおこなうこととした。
- ③ 令和 6 年度に「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」に選定された 5 件および、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」に選定された 6 件の取り組みを、「選定校における教育実践取組みの紹介(その 8)」として掲載していることを確認した。
誌面における執筆者の役職名、表題、略称等が適切であること、和暦と西暦など表記の統一、挿入図表の表記名称、図表等について、読者が判読しやすいようにレイアウトされていること、巻末の「参考文献および URL」等の表記が適切であることを確認した。一部の原稿については、背景色をつけるなど、より読みやすい工夫を行うこととした。
- ④ 本協会が今年度末で事業を終了することから、私情協ニュースに掲載した「本協会事業終結のお知らせ」および「本協会活動成果の情報共有(web)の紹介」が丁寧な説明内容となっていることを確認した。
また、「2024 年度 ICT 利用による教育改善発表会受賞者決定」、「改正個人情報保護調査集計結果」、「大学情報セキュリティベンチマークテストの見直し」が適切に掲載されていることを確認した。
- ⑤ 事業活動報告の「ICT 教育改善研究発表会」、「教育イノベーション大会」、「分野連携対話集会実施結果」、「大学職員情報化研究講習会実施結果」、「外部評価モデル構想の試行実験結果等」、「短期大学コンソーシアムによる地域貢献支援活動の試行結果」について、読者が理解しやすい表記となっていることを確認した。
- ⑥ 掲載した「生成 AI を利活用した授業改善の取組み」2 件の投稿原稿について、執筆者の役職名、表題、略称の表記が適切であること、適切な年号表記、挿入図表の表記名称等、表記が適切であることを確認した。